

○大会主題（テーマ）

「地域の自然から学ぶ生物教育」

※テーマ設定理由：

私たち生物教員はこれまで生物教育を通して、生徒たちの好奇心を引き出し、「生命現象の不思議さ、生物の面白さ」の発見ができるように、講義だけではなく地域の自然や実験室での観察から学ぶ取り組みを続けてきました。

新潟は、海と山に囲まれ、四季の変化に富み、生徒たちは幼少期からさまざまな生き物と触れ合うことで、生物を経験的に学んできました。この経験は、学問として生物を研究する基礎を支えてきました。

しかし、大学進学という大きな枠組みの中でいわゆる受験勉強が重要視され、理科が本来もっている「観察し思考する」という学びが失われつつありました。実験観察の時間は大きく減り、生徒たちは思考するよりも覚えることを優先するようになりつつあります。

2022 年より改訂された高校新学習指導要領で「主体的・対話的で深い学び」が大きく扱われ、生徒の学びを変えようとしている今、生徒たちが「地域の自然と生き物から学び、人と自然を愛する心を育む」ことができるように、私たち教員も知識と経験を再確認する必要があると考えます。

新潟大会で、全国各地から訪れる高校教員に新潟の自然と生き物を材料に研修してもらうことで、各地域における自然と生き物の魅力を再発見してもらうきっかけになることを期待します。

新潟大会は、私たち生物教員が生物教育の原点である身の回りの自然を見つめ直す機会となるようこの大会主題を設定します。